

平成 30 年度定期監査の結果に関する報告
(平成 31 年 4 月 19 日付け浜田市監査委員告示第 8 号)
に基づいて浜田市長が講じた措置の公表

浜田市監査委員

定期監査の結果に基づく改善等の措置について

第6 監査の結果

1 地域政策部

	指 摘 事 項	措 置 状 況
(2)まちづくり 推進課	<p>ア 地域づくり振興事業補助金について</p> <p>防犯灯の設置事業の補助金について、実績報告書に記載してある事業実施期間が、領収書等関係書類と整合性が取れていないものが見受けられた。</p> <p>申請時に実績報告書の記載例を渡す等、事前に間違いを防ぐよう工夫し、また、実績報告書の受付時には添付書類と報告書の内容が合っているか確認し、誤りがあれば補助事業者等に訂正を求めるなど精査されたい。</p>	<p>地域づくり振興事業補助金について、実績報告書に事業実施期間の説明書きを加えることによって記入誤りを防止し、領収書等関係書類との整合性が取れるよう改善しました。</p>

6 三隅支所

	指 摘 事 項	措 置 状 況
(3)産業建設課	<p>ア 補助金交付事務について</p> <p>浜田市農業振興基金事業補助金交付要綱において、様式第4号実績報告書様式に事業実施期間の記載欄があるにもかかわらず、事業実施期間の記載がないものが見受けられた。事業実施予定期間より事業完了日が早まった場合には通常払いではなく前金払いと考えられるので、実績報告書に記載する事業実施期間は必ず記載するよう留意されたい。</p>	<p>浜田市補助金等交付規則に基づき、適正な事務処理を行います。</p>
	<p>イ 三隅特産品展示販売センターの利用状況について</p> <p>三隅特産品展示販売センター（ゆうひパーク三隅）の利用状況について、平成28年12月山陰道浜田・三隅道路の開通の影響により、車の通行量が減少し、前期（24期）に比べ平成29年（25期）の利用者は78.4%で、販売所が82.5%、レストランが91.5%、自販機に至っては68.1%と利用減となり、売上げもそれぞれ約2割、1割弱、5割減収している。単年度決算で赤字にならないよう情報発信、利用者へのサービス向上等経営努力の取り組みを応援していきたいとのことであった。</p> <p>平成30年度の計画を見ると、収支は均衡がとれているが、あくまでも指定管理料が入っての金額のため、できるだけ指定管理料を入れず恒常的に収益が出る体制を整える必要がある。マイナスの要因になるリスクを十分把握し、海の見えるロケーション等プラスになる要因を最大限に活かす創意工夫をもって経営改善が行われるよう、指導助言に努められたい。</p>	<p>観光資源を活用し、集客を図りながら安定的な経営ができるよう引き続き指導していきます。</p>